

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもプラス豊見城教室3号館

公表日 令和 7年 4月 30日

利用児童数 令和 7年 3月 31日

回収数 41

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36	3	0	2	部屋が2階と4階に分けられて目的別で使用されているので十分と思う。 手狭に感じる。	利用児童の人数や支援目的に応じて、園外活動や2階と4階での目的に応じた活動を分けてスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	37	2	0	2	先生や専門の先生がいらしゃって安心。 配置基準を満たされているかは不明。	配置基準を満たしてはいますが、周知できるように、見学や話し合いの場などで改めてご説明いたします。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	39	1	0	1	適切だと思う。 どこがバリアフリー化されているか等、設備を詳しく見たことがない。	写真を用いた視覚的な支援や怪我予防のための環境設定など、特性に応じた配慮について改めて周知いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	38	2	0	1	色とりどりの部屋で楽しく活動していると思う。	視覚的にも聴覚的にも安心して過ごせる環境作りに継続して努めていきます。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	1	0	2	毎日の支援に感謝している。	ご家族が安心して利用できるように専門性の高い支援を継続していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	41	0	0	0	毎月のプログラムについての冊子をもっている。	公表している支援プログラムの詳細を分かり易くお伝えできるように工夫していきます。
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	40	0	0	1	モニタリングの際に作成されている。	児童や保護者様のニーズと課題を正しく捉えられるように、児童発達支援管理責任者に対しての研修参加を推奨します。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	0	0	7	されていると思う。	支援内容は具体的に記載し、計画書についての不明点、疑問点は確認して頂けるよう丁寧な説明を行います。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	38	0	0	3	利用する度に十分に支援してくれている。	必要に応じて計画書に基づいた支援内容であることを周知いたします。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37	1	0	3	子どもの調子が良くない時は個別に対応してくれている。 ある程度固定化されるものだと思う。	必要な支援が提供できるように、支援内容を職員全体で見直し、固定化されない工夫を継続していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	17	5	1	18	保育所等訪問支援をしてくれている。 実際に交流しているかどうかは分からないが、作品が展示されている時に見学に行っている。 他と交流があるのか分からない。	児童館や地域での園外活動のお知らせを利用児童全体にも行い、交流の様子を周知いたします。また、交流が図れる企画を増やしていきます。
保護者への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39	1	0	1	利用する前に説明を受けた。 入所時にあった。	継続して分かり易い説明が出来るように努めていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	38	1	0	2	利用する前に説明を受けた。	今後も、モニタリング時など、支援内容についての確認を計画書を用いて行います。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	16	3	4	18	あると思うが、今は分からない。	職員に対する家族支援プログラムの研修参加やご家族様への実施の推奨、ご家族様への研修に関する情報共有を行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	36	1	0	4	利用の度に報告を受けている。 毎日子どもがどのように過ごしているのか細かく伝えてくれている。	事業所での様子以外にもご家庭での様子など、些細な事も共有できるように、ご家族様への聴き取りを行っています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	7	0	6	相談した際に丁寧に答えてもらい助かっている。 相談員とzoomの時だけ話せている。	ご要望に応じて、面談や助言が行える機会設けるために、必要な声掛けを行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	39	0	0	2	十分に支援してくれて感謝している。	お話を伺う際には、時間的な余裕にも配慮しての対応を周知していきます。接遇に関する研修への参加を引き続き推奨していきます。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	4	5	25	あるかもしれないが、認識がない。 活動があるのか分からない。	運動会の開催以外にも、保護者様が見学できる機会を促したり、交流が図れる企画を増やしていきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	32	1	0	7	困ったことがあると迅速に対応してくれる。	契約時以外にも、定期的に相談窓口についてお知らせし、児童含めて相談事をしやすい体制作りに努めます。また、要望なども積極的に声掛け聴き取りをいたします。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	39	0	0	2	公式LINEを使って連絡を取ることが出来る。	お電話でのやり取りなども、必要に応じて公式LINEに文章として改めて共有し、適切に情報共有できるようにします。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	38	0	0	3	公式LINEや冊子で確認している。	公式LINE以外にホームページでの発信も周知できるように、ブログ更新時のお知らせを適時行います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	1	0	1	十分に留意されていると感じる。	公式LINEでの写真の写り込みなど、職員間で都度確認を行い、守秘義務を遵守していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	32	2	0	7	訓練の様子を報告受けている。 不明なところがある。	マニュアルに関して、より周知できるように、契約時以外にも適時面談の場などでお知らせいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	32	0	0	8	訓練の様子を報告受けている。 不明なところがある。	年2回以上の避難訓練を行っています が、利用日以外の児童も参加できるように、日程調整や開催頻度を見直します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	37	1	0	3	安全に十分留意されていると感じる。	契約時以外にも安全計画の周知を行い、安全に運動等の活動ができる環境調整を随時見直していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37	1	0	3	公式LINEで速やかな連絡を受けている。 速やかに連絡してもらい、安心している。 まだ怪我をしたことがない。	引き続き、怪我防止に努めると共に、発生時には適切な対応が出来るように、職員間での情報共有や対策について周知していきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	36	1	0	4	先生の話自宅ですしている。 「自分」を出せている感じがある為、安心していると思う。	安心安全な環境で楽しく過ごして頂けるように、支援の内容や環境等について常に見直していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	32	4	0	5	施設のお友だちの話をしている。 とても楽しみのようで通所日は必ず事業所名を言っている。 6校時終了後に通所する為、疲れると話すことがある。	学校後の疲労感や体調に合わせた適切な支援が提供できるように、児童一人一人の当日の様子に応じた支援を継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	37	4	0	0	十分に満足している、感謝している。 行き渡る沢山の支援に有難いと思っている。 とても子どもの事を考えて支援してくれている。 子どもの様子、写真を利用日に送られてくる為、安心して預けれることが出来る。	今後も、安全に安心して楽しく成長を支援できるよう、質の高い療育、安全な環境作り等、人を大切にする社訓に基づいた教室運営を行っています。